



Omar Rodriguez's Live Gear for Japan Tour 2008

混乱の激音を創出するカオティック・ギア!

自身の心身に激しくほとばしるエモーションをラウドに伝達・増幅するための、圧倒的かつカオティックな巨大ペダルボードを含むオマー's機材を大公開!!

機材解説 ● ヤング・ギター編集部 YOUNG GUITAR pix: Hideo Kojima (gear)

個性的仕様のシグネチャ・モデル

昨年7月の“FUJI ROCK”フェスに“オマー・ロドリゲス・バンド”として来日出演した際、オマーが帯同していたアイバニーズ製のカスタム・ギターが、先頃、オマー・ロドリゲス・モデル“ORM1”として正式発表された。そしてオマーは、今回のマーズ・ヴォルタ来日公演でもそのシグネチャ・モデルを2本用意。

オマーはよほどのことがない限りショウを通して1本のギターを使い続けるのだが、現在メインで弾いているのがホワイト・フィニッシュのモデル(①)。スベック的にはブラックのモデル(②)と全く同じのだが、オマーはホワイトの方を好んで使うようだ。ちなみに、ホワイトはオマーのためのカスタム・フィニッシュで、市販モデル(③)はブラックのみとなっている。

フィニッシュ以外にも本人モデルには独自の仕様

が施されており、3ピース・マホガニーのネックは標準モデルが24インチのショート・スケールになっているのに対して、本人モデルはそれよりも更に若干長くなっているとのこと。これは、オマーが長年使ってきたギターのネックをアイバニーズに送り、それをそっくりそのまま再現してもらった結果で、やや手の小さいオマーには最適なスケールになっているようだ。もう1点、市販モデルのピックアップはアイバニーズオリジナルだが、本人モデルにはセイモア・ダンカンシングルコイル・サイズ・ハムバッカー“Little 59”がマウントされている。ただ、オマーはアイバニーズピックアップのサウンドも気に入っているそうで、市販モデルをレコーディングで使用することもあるそう。

トータル32台のペダル群

アンプは以前と同じくオレンジの2チャンネル

Guitars



1 Ibanez ORM1 custom model for Omar



▲前シグネチャモデルと同じラージ・タイプのヘッドで、ペグはフロント製。

▲指板はローズウッドで、フレット数は22フレットを採用している。

▲ホワイトのカスタム・フィニッシュが施された今回のメイン・シグネチャ・モデル同様、PUはリアのみで、コントロールは1ウェイ・ボリューム・ノブというシンプル極まりないスペックになっている。

▲ボルト・オン・ジョイント部は、プレートを使わず滑らかなエッジ処理が施されたアイバニーズ独自の“All Access Neck Joint”仕様。



2 Ibanez ORM1 custom model for Omar

▲フィニッシュ以外は①と全く同じ仕様のピックアップ・ナックル・尚オマーの標準スケールのネックは、5弦が56/056/049/036/026/016/013(3弦はワイド)になっている。それ以外のギタースペックは「オマー」。



A Ibanez ORM1

▲オマーのライブ・ギタースペックは、1弦が56/056/049/036/026/016/013(3弦はワイド)になっている。それ以外のギタースペックは「オマー」。